

大人向け

種別	講座名	講座内容	窓口
全般	港の役割	国民生活に対し、港がなぜ必要なのか、港の施設にはどのような種類があり、それぞれどのような役割があるのか、災害時の港の役割は何かなどを、最近の社会情勢を踏まえ紹介します。また、経済の活性化や雇用の創出を可能とする産業立地の支援に関する港の役割についても紹介します。	クルーズ振興・港湾物流企画室
物流	船舶を利用した効率的な輸送	東北地方全体のエネルギー・貨物の効率化を図るため、大型船舶を活用した大量一括輸送実現に向けた取り組みを展開しています。 ここでは、東北地方の国民生活や経済活動を支えるエネルギー資源の安定・安価な供給に関する港の取り組みを紹介します。	
観光・にぎわい	クルーズ船やみなとオアシスを活用した観光振興	政府は訪日外国人旅行者を増やし、観光立国を目指すこととしており、観光立国アクションプログラムを打ち出し、様々な取り組みを展開しています。また、国土交通省は、みなとを核としたまちづくりを促進するため、地方自治体等からの申請に基づき地域振興の取り組みが継続的に行われる施設を対象として「みなとオアシス」の認定を行っています。 ここでは、クルーズ船やみなとオアシスを活用した観光振興の取り組みを紹介します。	
環境	海洋環境再生への取り組み	東日本大震災による津波で沿岸部は大きなダメージを受け、海洋環境の再生、福島原発事故による新たなエネルギーが注目されています。 ここでは、震災後の海洋環境の再生および海に関する新たなエネルギーへの取り組みを紹介します。	
防災	港の震災対応と防災対策	東日本大震災では港湾施設に壊滅的な被害を受け、現在も復旧に向けた取り組みが行われています。また、今後20年間で耐用年数を経過する岸壁が約8割に上るなど、急速な老朽化に対応する維持管理が求められています。 ここでは、東日本大震災からの港の復旧・復興と適切な港湾機能を確保するための施設の維持管理に関する取り組みについて紹介します。	
防災	港の震災対応と防災対策	東日本大震災を教訓に大規模災害時における港湾の機能を継続するための取り組みが行われています。また、今後20年間で耐用年数を経過する岸壁が約8割に上るなど、急速な老朽化に対応する維持管理が求められています。ここでは、港湾BCPの策定の取り組みと適切な港湾機能を確保するための施設の維持に関する取り組みについて紹介します。	
事業	港湾行政	国民生活に対する港の重要性や、そのために必要な施設整備等について、また、最近の港湾政策や主要施策について紹介します。	
全般	東北港湾ビジョン	東北地方整備局と東北6県の港湾管理者は、東北港湾が果たすべき役割と目標などを内容とした東北港湾ビジョンを策定しました。 ここでは、東北港湾の10年から15年先の将来像について紹介します。	